

9月は 世界アルツハイマー月間

国際アルツハイマー病協会(ADI:105の国と地域が加盟)が認知症への正しい理解が進むことを目的に世界中で啓発活動を行っています。日本では「家族の会」が中心となり、全国各地で啓発リーフレットの配布や記念講演会や動画配信などを行っています。

Live!

ライトアップ 2021

各地のライトアップを中継してYouTubeでライブ配信!



放送開始 ▶ 2021年9月21日(火)

19:00 ~ 20:00



<https://bit.ly/WAD20210921>

赤穂城



山形大学工学部本館記念館



写真は昨年度の様子

写真撮影 下坂厚さん(48歳 京都市在住)

2019年、46歳で若年性アルツハイマー病と診断され退職。現在は介護職員として働きながら、認知症の啓発講演などを行う。Instagramでも写真を発表している。この面以外の写真は、すべて下坂さんが撮影した職場の西院デイサービス(京都市)の人たち。



大変な時こそ みんなでつながろう

「家族の会」はコロナ禍でもインターネットを使った交流や、感染対策をとりながら活動を進めています。

絆をつくる

全国で本人や家族が集まるつどいを開催。電話相談で支え合い、会報で情報共有をしています。

社会を動かす

認知症の人と家族が安心して暮らせるよう、国などへの要望や、啓発活動を行っています。

「家族の会」は家族、認知症の人、専門職、関心のある人、企業や団体など、どなたでも入会できます。



公益社団法人
認知症の人と家族の会 代表理事 鈴木森夫

〒602-8222 京都市上京区晴明町811-3 岡部ビル2F
TEL 050-5358-6580 FAX 075-205-5104
Eメール office@alzheimer.or.jp
ホームページ <https://www.alzheimer.or.jp>



認知症の
電話相談



0120-294-456

10:00~15:00 土日祝を除く(通話無料)

携帯・スマホからは 050-5358-6578 (通話有料)



〈支部連絡先〉

この街で
笑顔で生きる
認知症

9月21日は世界アルツハイマーデー



2021年版



公益社団法人
認知症の人と家族の会

認知症とともに生きる時代が来ています

だれでも 受け入れるのは 難しい

自分が認知症となった時、それを受け入れることは簡単ではありません。今後の生活や、経済的な不安、家族に対する思いなど心配は尽きません。

しかし最初はショックでも、気持ちに折り合いをつけて、前向きに自分らしく暮らしている多くの認知症の人と家族がいます。



家族も大切な人が苦しむ姿に、いたたまれなさや、悲しみを感じています。また、自分の体調や、生活への不安も感じています。

それでも、家族だけで抱え込まずに周りの人に話したり、制度や社会資源を利用することで、住み慣れた街で生活を続けていきます。

様々な原因でおこる認知症を「完治」させる薬はまだありませんが、新薬の開発は日進月歩で進んでいます。また、各地で認知症を理解し、ともに生きる街づくりも進んでいます。

認知症を「予防する・治す」ことだけに注目せずに、適切な医療やケア、周囲の理解で「病気とうまくつきあう」ことも可能です。認知症になっても、介護する側になっても、だれもが笑顔で過ごせる街にしましょう。



認知症と診断されても

認知症と ともに 生きるための8か条

1

認知症の
診断で人生は
終わらない

2

認知症の
正しい情報を
得よう

3

制度を知り
活用しよう

4

家族だけで
抱え込まないで

5

仲間と
支援者を
探そう

6

職場の上司や
親せきなどに
病名を伝えよう

7

社会や地域と
つながろう

8

家族で
話し合っ
ておきましょう



アメリカで アルツハイマー病の 新薬承認！

2021年6月にアメリカでアルツハイマー病の原因物質を取り除く新薬が承認されました。日本ではまだ使えませんが、特に初期の人に効果が期待されています。「家族の会」では会報やウェブ・SNSで最新情報を発信しています。

「家族の会」ではウェブ・SNSで情報を発信しています。▶▶▶

